
紅と白銀

時原真実

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅と白銀

【Zマーク】

Z2952Q

【作者名】

時原真実

【あらすじ】

お兄様がヤンデレ気味です。弟君はまともです。多分

いつからだらうか

あの憎い弟を殺めたいと思う理由が変わったのは

わけ

最初は
あのような半妖…

一族の恥さらし者を慕う口が来るとは思わなかつた。

失つた當時、怒りを覚えた左腕も、今では喜びを感じる
あやつに触れられた証拠だと

あいつの匂いが近い。

少し行つてみるか。

だがやはり…

「殺生丸…つ…

何しごときやがつた?…」

早速、刀を構える愛しの弟。

「ふつ…」

思わず笑みがこぼれる

触れる事が出来る…

「でやあああああああ…！」

刀を構え、向かってぐる。

：まだまだだな。

軽く、殴りてみる

それだけで簡単に吹っ飛んだ。

私を 狂わせる

こいつを

全て

私のモノにしたい

血こまみれさせ、私だけのものに。

そうだ、この場で…

この場で

私だけのものに…

爪を構え、奴に向かう

「貴様は、私以外の者に殺されるな。」

そう言い、一気に引き裂く。

あの女の悲鳴が聞こえる。

だが、そんな事は関係ない

この身体は…私のモノになつたのだ

この喜びを隠せるものか

奴を眺めていたせいか、私は気付かなかつた。

聖なる矢が飛んで来ている事に。

ああ。

私もここにで眠るのか。

いやつと共に。

いやつと逝くなれば本望。

犬夜叉よ、私は

憎しみではなく、慕しみで貴様を殺めたかったのだ。

やつを

奴に重なるよう

倒れ

永久の眠りにつく。

喜びをかみ締めながら。

残つたものは

紅と白銀。

(後書き)

なななな、何かすみませんつ

何となく書いたといつか

殺兄、キャラ崩壊ですね……

今度、犬夜叉視点も書こうかな

あ、私、腐女子じゃないですよ、多分
そりやB-Cもたまには読みますが……

だって、CPでベスト3つくらいNC-Pが並ぶし……

まあ、どうでもいいですねww

それではこの辺で……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2952q/>

紅と白銀

2011年1月26日02時32分発行